

(一社)天竜建設業協会 浜松市天竜区二俣町鹿島491-5 ☎(053)926-1562 FAX(053)925-6468  
 電子メールアドレス jimutyo@tenkenkyo.net ホームページ <https://www.tenkenkyo.net/>  
 編集・発行 広報委員会 題字 長谷川智彦



## 浜松市天竜区春野町 熊切川の溪谷

熊切川中流にある溪谷です。  
 天竜区は、人知れず美しい自然がたくさんあります。  
 忙しさの中 通り過ぎるだけの景色も、たまには立ち止まってみるのも  
 いいかもしれません。

## CONTENTS

新春メッセージ	2
かんとくさん／最近のキーワード	3
協会ニュース	4
建設ギャラリー／ちょっとおすすめグルメ	5
マイファミリー／コーヒーブレイク	6

# 令和8年 新春メッセージ

明けましておめでとうございます。会員、賛助会員の皆様並びに地域の皆様には、さわやかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

一般社団法人 天竜建設業協会



「天竜区」魅力発信プロジェクト

## 謹んで新年のお慶びを申し上げます

天竜区では、昨年の夏も全国区の暑さを記録した一方、六月に豊野町杉の国道三六二号で発生した斜面崩壊や、八月の記録的豪雨による船明地区での浸水被害などの災害が相次ぎました。そんな災害が発生するたびに、協会の皆様には迅速な復旧作業にご尽力いただいております。感謝の念に堪えません。本年は午（うま）年。天竜区の山間部では、かつて木材運搬や農耕に馬が活躍していた歴史があります。人と馬が力を合わせて物資を運び、暮らしを支えた営みから「前進」「信頼」「絆」のキーワードが浮かび上がります。そこで、地域の皆さまとの信頼や絆を一層大切に、未来へ力強く前進するまちづくりを進めてまいります。本年も天竜区政への「理解」と「協力」をお願い申し上げます。

令和八年 元旦  
浜松市天竜区長 仲井 英之



浜松市天竜区長  
仲井 英之

## 謹んで初春のお慶びを申し上げます

昨今、激甚化・頻発化する自然災害は、地域の生活に大きな影響を及ぼしております。天竜区においても、毎年のように発生する土砂崩れや路肩崩壊に加え、昨年八月には、時間雨量一〇七ミリという観測史上最大を記録する豪雨により、船明地区が浸水被害に見舞われたことは記憶に新しいところですが、そのような折、会員各社の皆様の迅速な対応と早期復旧への尽力は、地域にとって大変心強く、また、地域の守り手として不可欠な存在となっていることを認識しております。本年の4月より、第1次国土強靱化実施中期計画が新たにスタートします。本市としても、緊急輸送道路等の整備、道路斜面対策、橋りょう耐震化、インフラ老朽化対策、流域治水の取組みなど、様々な施策を推進してまいります。牛（うま）年のように速く、しなやかに前進する気概をもって、職員一同努めてまいりますので、引き続き、皆様からのご支援をご協力をお願いしますようお願い申し上げます。来春ながら、貴協会のさらなる発展と、会員の皆様のご健康、ご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

令和八年 元旦  
浜松市土木部長 平井 親一



浜松市土木部長  
平井 親一

## 迎春

初春や淡き光となる現場

一月の山河に岩を斫る音

技術者の矜持抱きて年新た

皆様の工事安全を祈念いたします。

令和八年 元旦  
静岡県西部農林事務所 天竜農林局長 松村 史基



静岡県西部農林事務所  
天竜農林局長  
松村 史基

## 謹んで初春のお慶びを申し上げます

昨年も当地区協会の皆様方には、河川・砂防事業等の推進にご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。近年多発する未曽有の豪雨の発生など、突発的な災害時における緊急対応等に「尽力をいただき、天竜地域の「安全・安心」が協会の皆様方のお力で支えられていると深く実感しております。本年も天竜建設業協会の皆様方と力を合わせ、地域の「安全・安心」の向上に努めていきたいと思っておりますので、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。協会の皆様方の「健康」と「繁栄」を心よりお祈り申し上げます。

令和八年 元旦  
静岡県浜松市土木事務所 天竜支局長 井倉 基



静岡県浜松市土木事務所  
天竜支局長  
井倉 基

謹んで新年のお慶びを申し上げます

旧年中は災害発生時における迅速な対応や日頃の道路河川の維持管理に多大なご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

本年も地域の安全・安心で快適な生活のため、協会の皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年 元旦

浜松市土木部 天竜土木整備事務所 所長 毛利 健太郎



浜松市土木部  
天竜土木整備事務所長  
毛利 健太郎

謹んで新年のお慶びを申し上げます

昨年は林道災害発生時における緊急対応や林道施設維持管理など、協会の皆様方の専門的な技術力と迅速な対応力に支えられ、地域の安全・安心なまちづくりを推進できましたこと厚くお礼申し上げます。

本年も地域の安全・安心のため、協会の皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

令和8年 元旦

浜松市 産業部 林業振興課 天竜森林事務所 所長 大畑 雅司



浜松市産業部林業振興課  
天竜森林事務所長  
大畑 雅司

# かしくくかしく



浜松市土木部  
天竜土木整備事務所  
工事第2グループ  
村越 湧也

新年あけましておめでとございます。本年もよろしく  
お願い致します。

令和5年4月に入庁し、浜松市土木部天竜土木整備事務所（工事第2グループ）に配属となりました。

市役所に就職する前は、愛知県民企業（橋梁などを設計するコンサル）に勤めておりましたが、浜松市出身の妻との出会いがあり、浜松市役所に就職する運びとなり、移住する事になりました。天竜区は配属後初めて訪れたため、土地勘や地域の情報もなく、市民の皆様や業者の皆様には丁寧な対応が出来ず、大変ご迷惑お掛けしました。とても苦勞した思い出です。

しかしこの3年間の業務を通じ、地域の皆様とコミュニケーションを図る中で、天竜区のいろいろな事や所を覚え、今では苦勞せず応対ができるようになりました。

業務では、工事第2グループ員として、浜松市が管理する道路構造物（特に橋梁）の維持管理業務や施工管理業務に携わっており、昨年は嘯月橋架け替え工事に必要な迂回路整備工事や大輪橋耐震工事、災害復旧工事の担当監督員として努めて参りました。設計は基より、地域の皆様との調整や工事の施工管理まで、幅広い技術力や折衝能力が求められる工事を経験した事で、技術職員として成長できた1年になったと感じております。

まだまだ未熟な私でもございますので、今後も皆様のお世話になることが多くあると思いますが、皆様のお役に立てるよう、日々研鑽を重ね精進していきたいと思っております。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

## 最近のキーワード 「権限代行」

最近、建設まわりの話題で耳にするようになったのが「権限代行」という仕組みです。もともとは、東日本大震災で被害を受けた道路や港湾などの復旧を急ぐため、2011年に国が自治体に代わって事業を進められるよう整備された制度が発端でした。その後、人口減少や財政難、技術職員不足といった課題が深刻化するなかで、災害時だけでなく、平時のインフラ管理にも活用が広がっています。

イメージしやすいのは、道路・河川・港湾などの維持管理です。老朽化が進んでいるのに、図面が読めて点検や補修計画を組める技術者が足りない。そんな自治体も少なくありません。そこで自治体が国に支援を要請すると、国土交通省などが職員を派遣し、調査・設計・契約事務といった実務を担い、場合によっては国の名義で工事を進めることができます。これが「権限代行」のイメージです。

一方で、「何でも国まかせ」でよいのか、という声もあります。自治体の本来業務が国に移りすぎると、地方の自立性が弱まるのではないかと、という懸念です。国はあくまで、助っ人にとどまり、自治体自身の体制づくりを後押しするのが筋ではないか。こうした考え方も根強くあります。

それでも現場の人手不足は待たないの状況です。権限代行は、地域の暮らしを支えるインフラを守るための、現実的な選択肢の一つになりつつあります。今後は「どこまでを国が担い、どこからを自治体が担うのか」という役割分担を丁寧に考えながら、官民が連携して持続可能なインフラ管理の仕組みをつくっていくことが求められています。

## 協会ニュース

### 道路愛護除草を実施

8月28日に天竜・龍山地区、春野地区、佐久間地区の会員各社による道路愛護活動(除草作業)を実施しました。これは、当協会が地域の社会貢献活動として毎年8月の「道路ふれあい月間」に合わせて実施しているものです。

天竜・龍山地区の出発式では、長谷川会長及び天竜土木整備事務所、市川副所長からご挨拶をいただいた後、各所に分かれて除草作業を行いました。

今年度は、7月25日に実施した水窪地区も含めて、計29社64名が参加しました。



出発式

### 天竜高校の土木授業を支援

当協会では、平成30年度より、天竜高校からの依頼を受けて、土木

実習授業に会員技術者を講師として派遣しています。

今年度は、(株)天竜アキヤマの技術者が講師となり、高校の敷地内にL型擁壁を設置する工事のほか、実際の工事現場の見学など、1回2時間の実習を計7回行いました。



実習の様子

### 企画青年委員会視察研修

9月18日、19日に天竜建設業協会企画青年委員会の活動で岩手県陸前高田市にある「東日本大震災津波伝承館」(いわてTSUNAMIメモリアル)を視察しました。

「事実を知る」ゾーンには、屋根のつぶれた消防車両や気仙川に流入した津波で押し流された気仙大橋の橋げたの一部等、当時の津波の凄まじさを物語る展示の数々がありました。

巨大なスクリーンには津波に次々にのみ込まれていく街が映し出されており、テレビやインターネ

ット等でも見たことがない映像も多くありました。

近くには被災した建物も保存されており、再整備された街並みの中においても大きな存在感を放っていました。

震災後初めて現地を訪問しましたが、改めて震災の恐ろしさ、津波の凄まじさを感じると共に、力強い復興を感じることができました。

また、行程の途中では中尊寺金色堂や盛岡八幡宮といった歴史的価値のある神社仏閣への参拝も行うことができ、2日間を通して大変有意義な視察研修となりました。



東日本大震災津波伝承館



盛岡八幡宮



### 第40回土木工事現場

#### 技術発表会を開催

9月26日、技士会天竜地区と協会の共催で土木工事現場技術発表会を開催し、技士会会員のほか、行政機関の職員など、約40名が参加しました。

天龍土建工業(株)、森吉組(株)、伊藤建設(株)の技術者が、それぞれ発表した後、県浜松土木事務所の鈴木検査監、県西部農林事務所天竜農林局の刑部森林経営課長及び市天竜土木整備事務所の市川副所長から講評・助言をいただきました。

発表会終了後、引き続き、「技術研修会」が行われ、県浜松土木事務所の鈴木検査監から建設工事の安全対策、建設工事事故防止重点対策について講義を受けました。技術者たちは各自の知識を高め、より一層の安全意識の向上を図ることができました。



技術発表会の様子

**工事名** 令和5年度土木施設災害復旧事業  
(国)152号道路災害復旧工事(5災第50号)

**工事箇所** 浜松市天竜区龍山町大嶺地内

**工期** 令和5年6月21日～令和6年2月29日

**発注者** 浜松市

**施工業者** (株)天竜アキヤマ

**復旧延長** 74m

**工事概要** 崩土除去1200㎡ 現場吹付法砕工2198㎡  
モルタル吹付工35㎡ 落石防止網工555㎡  
コンクリートブロック積工58㎡ 舗装工23㎡



【着手前】



【完成】

本現場は令和5年6月の台風2号により被災した国道152号の道路災害復旧工事である。

国道152号の上部約150m地点から豪雨により法面が崩落し、約1,200㎡近い土砂が道路に堆積するとともに、歩道の一部が崩壊した。

法面の復旧は、ロッククライミングマシンを用いて崩落土を掘削した後、現場吹付法砕工(300×300@2000)を施工し、最下部には落石防止網を設置した。

国道152号の寸断は地域住民の生活に大きな不安をもたらしたため、早期復旧による交通の確保が強く求められた。

発注者のご理解はもとより、人員の増員や休日返上など、協力業者のご理解とご協力により、3ヶ月で片側通行を開放することができ、その後も無事故で工事を完成させることができた。



水窪町内から北へ車で10分程走らせると左側にある『はくりや』を紹介します。  
そこには長野県飯田市南信濃から取り寄せているお肉、『ホルモン』『ジギスカン』『鳥じん』『豚じん』があります。  
天竜地区でも買える物もありますが、『はくりやさん』には『鹿じん』『猪じん』という珍しいお肉も取り扱っています。  
味付けが濃いめなので、野菜と一緒にフライパンで炒めて晩御飯のおかずにするご飯が進みます。  
鶏じんはからあげにしても美味しいですよ！

「はくりや」

有限会社 飯島建設 飯島 雄一



おすすめグルメ



株式会社渡辺兄弟工業  
スベディケダルプラサード

みなさんこんにちは。わたしは、ネパールからまいりました。いま、にほんでけんせつのごとをしています。

わたしのかぞくはネパールにすんでいます。つまのリタと8さいのむすこのリダムです。つまはりょうりがじょうずです。むすこはおいしいたべものがだいすきです。わたしはかぞくとあそぶことがしあわせです。でも、いまはかぞくとたのしいじかんをすごすことはできません。ときどき、ねむれないときもあります。こころがからっぽになります。かぞくとでんわではなすとき、つらいきもちはいえませんが、わたしがいたら、かぞくもないてしまうきがしてころろがいたくなります。でも、にほんでひとりです。つよくなれるきがします。

わたしはゆめがあります。ゆめをかなえて、かぞくとほんとのしあわせをみつきたいです。



天竜商工会青年部 久保敷由加里



こんにちは。天竜商工会青年部部長の久保敷由加里です。私は水窪で生まれ育ち、大学卒業後は空調設備会社に就職し、技術職として働いていました。都会での生活は学びも多く刺激的でしたが、体調を崩したことを機に退職し独立。自分らしい働き方を模索する中で地元とのつながりが強まり、水窪へUターンしました。

帰郷後は「水窪の星の駅碧ーAOIー」のマネージャーとして、移住された方々と地元のお母様方と共に運営。地球循環型をコンセプトに、地域の自然や文化を生かした商品づくりや運営に携わっています。その後、猟師である主人と結婚し、ジビエ解体所を立ち上げ、「北遠ジビエ」の普及や命の循環を大切にしたり取り組みも進めています。

水窪の自然・文化・人の魅力を次世代へつなぐ活動に力を入れ、笑顔が広がる地域づくりを目指しています。最近では、星の美しい北遠の魅力を伝えたい思いから、浜松星空案内人の資格も取得しました。



電子化で、煩雑な申請や書類管理の手間を大幅に軽減できます。

- オンラインで業務効率化!
- 工事関係書類の電子化にも対応!
- 発注機関等への提出作業が軽減!

建退共 電子申請方式

建退共加入事業所のみならず 電子申請方式をぜひご利用ください!

- ①電子申請方式とは 共済証紙に代わる「退職金ポイント」という電子ポイントを事前に購入し、被共済者の就労日数を登録した「就労実績ファイル」により、個々の被共済者の掛金として充当するものです。
- ②電子申請方式の申し込み方法は 電子申請方式申込書をダウンロードし建退共静岡県支部に提出。

建退共静岡県支部 〒420-0851 静岡市葵区黒金町11-7-12階 TEL 054-255-6846